

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	43	トイレでの排泄を行わず居室にて自らリハビリパンツや汚染衣類の交換のみ行っていた利用者が認知症の進行等により自ら交換することが出来ず、介助も拒否気味であるため汚染状態のまま過ごしている状況である。	その都度声かけを行っていくが、これまでのようにリハビリパンツ・衣類等のセッティングをしておくことで自ら交換でき、清潔が保てるようにする。	本人の今の状態(心身・有する力や認知症の進行度等)の再確認を行い、無理に介入しようとせず、なぜ交換せずにいるのか、日々の生活の中で本人とのかかわる時間を増やし、本人の思いをしっかりと受け止めながら支援していく。本人の意志を確認しながら必要時介助する。	3ヶ月
2	25	全体的にレベル低下の見られる利用者が増え、日々の状態変化・急変に対応していく必要がある。	日々心身の状況を見極めながら、一日一日を良い状態で過ごせるような支援をする。	日々の状態変化・急変に気づき早期対応を行っていく。必ず本人とのコミュニケーション(言葉でのコミュニケーションのみではなく表情等も見る)をはかり、本人の思いに添うよう対応していく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。